

広瀬小学校 開校50周年 おめでとう！

学校教育目標

よく考え行う子 (知)

思いやりのある子 (徳)

たくましい子 (体)



1 学校経営に関する基本理念

すべては子供たちのために

2 目指す学校像

子供たち・保護者・地域の方々・教職員が自慢できる学校

3 目指す児童像

合言葉は笑顔

- (1) よく考え行う子
 - ・話をよく聞く
 - ・よく考え、互いに伝え合う
 - ・自分から進んで学習する
- (2) 思いやりのある子
 - ・自分から進んであいさつや返事をする
 - ・相手の気持ちを考えて行動する
 - ・自分、家族、友達、学校、地域を大切にする
- (3) たくましい子
 - ・基本的な生活習慣を身に付け元気なからだをつくる
 - ・力いっぱい運動する
 - ・時間いっぱいがんばる元気な心



4 目指す教職員像

広瀬小を誇りに思う教職員

「埼玉県教職員 MOTO (モットー)」 未来を創る、こどもたち。未来を育てる、わたしたち。～未来への責任～

- (1) ㊦ 信頼される教師
 - ・社会人として好感をもたれる丁寧な対応、接遇（あいさつ、表情、態度、服装、電話対応等）
 - ・教育公務員としての自覚・行動
- (2) ㊤ 安全・安心を児童へ提供できる教師
 - ・子供にとって、安全な教育環境の整備（児童目線の安全点検）
 - ・子供の声を聴き、いじめ、仲間外れの無い人間関係づくり
- (3) ㊥ わかる授業を展開できる教師
 - ・授業で勝負する（児童理解、教材研究、分かる授業の実践）
 - ・子供の良さ・頑張りを称賛する（美点凝視）
- (4) ㊦ 誠実に学校経営への参画意識が持てる教師

- ・学校教育目標の具現化を目指す
- ・組織を生かした報告・連絡・相談
- ・共通理解・共通行動

5 指導の重点

(1) 確かな学力を育む教育活動（よく考え行う子）

- ① 授業規律の徹底・定着
- ② わかりやすい授業を展開（基礎基本の定着を図る）
- ③ 児童が学びを実感できる授業の展開（茶レンジ・プラン提言6）
 - ・1単位時間の授業の充実
（ねらいの明確化、児童が自ら考える時間の確保、まとめを自分の言葉で）
- ④ 主体的・対話的で深い学びの実践（茶レンジ・プラン提言5）
 - ・意見を交流させる場と時間の確保
- ⑤ 電子黒板、タブレットを活用した授業の工夫
- ⑥ 思考力・判断力・表現力を付けるために体験活動の推進
 - ・生活科、総合的な学習の時間の充実・地域素材の活用や地域人材との交流
- ⑦ 専科教員による英語科授業の充実・外国語活動の推進
- ⑧ 専科教員による体育科授業の充実・体力の向上

(2) 豊かな心の育成（思いやりのある子）

- ① 誰一人取り残さない学校（生徒指導・教育相談の充実）
 - ・全教職員で協力し、情報の共有、迅速な対応で生徒指導にあたる
 - ・不登校児童、不登校傾向児童への対応
 - ・さやまっ子相談員、スクールカウンセラー、通級指導教員との連携
- ② 児童の笑顔があふれる学級づくり
 - ・真面目な生活態度の確立（善い行いを称賛・認める）
 - ・児童一人一人の活躍の場を確保し、自己肯定感を育む
 - ・児童同士、児童と教師の信頼関係の構築
 - ・Q-Uアンケートの有効活用（学級の実態を客観的に把握・情報を学年内で共有）
- ③ 「特別の教科道徳」の授業の充実
 - ・人権意識の向上を図り、いじめ解消率100パーセントを目指す
 - ・指導過程を工夫して、考える道徳の推進
- ④ 特別活動の充実
 - ・自己有用感を味わわせる学級活動（係・当番活動、学級会）
 - ・異年齢集団との関わり（縦割り活動、委員会活動、クラブ活動）
- ⑤ 特別支援教育の充実
 - ・特別支援学級との交流の推進
 - ・配慮を要する児童への教育支援プランの活用
 - ・ユニバーサルデザインを意識した授業の構築

(3) 安全・健康・体力の育成（たくましい子）

- ① 安全・安心な学校
 - ・交通安全指導の徹底・安全点検の確実な実施・不審者対応安全指導の徹底
- ② 健康の基本である体力の向上
 - ・体育授業の充実と運動量の確保・1日20分以上は外遊び

- ・早寝早起き朝ごはんの推進・望ましい食習慣の確立

③ ICT の正しい知識と活用方法を身に付けさせる

- ・タブレット使用時の約束の徹底
- ・ネットモラルについて学ぶ機会を多く取り入れる

(4) 家庭・地域との連携・協力～開かれた学校づくりの推進～

- ① コミュニティースクールの推進
- ② PTA との協力体制・学校応援団の積極的な活用
- ③ 様々な家庭環境を理解し、子供の変化や良さ、成長を積極的に伝える
- ④ テーマのある懇談会を実施し、子供の成長の視点を共有する
- ⑤ 学校だより、学年だより、ホームページ、スクリレ等で情報を発信する
- ⑥ 地域への計画的、積極的な参加を図る

6 働き方改革の推進

働き方改革の目的

①教職員の健康確保 ②教職員が笑顔で子供たちと向き合うため ③教職員の人材確保

(1) ICT環境の有効利用

- ・校内サーバを活用した情報の共有化
- ・ペーパーレス化
- ・Teams（会議）やForms（アンケート集計）の活用

(2) 会議や話し合いの効率的な運営

- ・事前に資料の提示・話し合う内容の明確化。
- ・話し合いの時間の提示

(3) 在校時間を意識した働き方を

- ・7時に開錠 19時までに施錠
- ・ノー残業デー、ふれあいデー（18時に施錠）
- ・電話受付時間 7:30～18:00（18:00～翌朝7:30まではメッセージ対応）
- ・長期休業中は、8時過ぎ開錠 17時施錠

(4) 広瀬小リフレッシュ休暇の実施

- ・年間1人1日、授業日に年休を取得する
- ・年度当初に学年内で重ならない日や行事日程を勘案して計画的に取得する

